

1/1.6型 スーパーCCDハニカムHR 原色フィルター採用 本体外形寸法:97.7mm X 58.9mm X 23.4mm 質量:190g



Fuji-Film Digital Camera

# 12MP FINEPIX F100fd



従来比400%のワイドダイナミックレンジ 28mm~140mm 光学5倍ズームレンズ搭載 CCDシフト式手ぶれ補正機能搭載  
顔検出範囲360度、約0.036secの高速検出を実現 超高感度12800 設定可能(3MP画素数時)

本体外形は、中央部が少し凹む形状で大変持ち易いし、その分フィールド撮影で安心できるデザインとなっている。ズームレバーに対して、レンズの動きが機敏過ぎるように思えるが、私の反応が「のろい」のか。液晶モニターがややGreenに寄っているので、シャッターを押す前から気になった。撮像する画像はやや抜けが悪いように見える。記録画像をパソコン上で見たり印刷しても、そのGreen傾向は若干残る。再生時に輪郭補償を加えるが、わずかに遅延が認められる。ズームレンズは、ワイド端で樽型のジオメトリーひずみが出ており、周辺にある縦線は画面内側に曲がる。このとき被写体は前に出る感じで凹む感じはない。画質は、大変高解像度で細かさは申し分ない。適正露出は若干暗め（露出補正+1/3EV程度必要）に思えるが、その代わり中間調から暗部までの濃度再現性は素晴らしい。また、ハイライト上のわずかなコントラストもよく再現されて、立体感の表現も優れている。操作は上の写真のように撮影条件設定をホイールダイヤルで選択する。しかし、気に入らなければマニュアルで、ダイナミックレンジ(AUTO/100%/200%/400%)、露出補正(1/3ステップ)、測光方式(マルチ、スポット、アベレージ)、ホワイトバランス(AUTO/晴れ/日陰/蛍光灯1,2,3/電球)などを調整できる。色再現は、適正時でも同社の従来機(600万画素タイプ)と比べやや希薄に感じる。Fクローム設定では、わずかに色の飽和度が上がるが、実際のフィルムのように大きさに暴れた感じはない。高感度設定時の撮影は画像に細かさが無くなり、かなり荒っぽいイメージになる。しかし、ASA3200程度の撮影では「夕方の八百屋で裸電球がぶら下がった情景」を撮影する場合、このようなダイナミックレンジの広い画像に、めっぽう強いカメラだということも分かる。総合的に観て、お散歩時に楽しむ簡単カメラというより、フィルムカメラからのファンがそれなりに使いこなすカメラとしての位置づけも考えられている。それは、多彩な調整機構からも明らかで、大切にこだわって撮影する事を意識させられる。おまけに、自分で印刷するより富士フィルムのお店に任せたほうが、はるかにバランスよく綺麗に仕上げてくれ、ここに富士フィルムの戦略を垣間見る事が出来る。そういう使い方が多い人には、是非お勧めしたいカメラと言えそうだ。